

指定管理者評価委員会の評価結果（令和6年度）

令和6年8月20日

評価対象	施設名	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター		
	設置目的・役割等	在宅要介護者への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
	施設の所在地	美濃加茂市新池町3丁目4番1号（総合福祉会館内）		
	規模等	敷地面積	17,829.56 m ²	担当課
		延床面積等	369.57 m ² （RC造 総合福祉会館1階一部）	高齢福祉課
	指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会		
	指定期間	R3.4.1～R8.3.31（公募・ 非公募 （任意指定））		

評価委員 （敬称略）	名城大学 都市情報学部教授 赤木 博文 岐阜協立大学 経済学部准教授 藤井 えりの 旅人総研代表 田中 三文 コンサルティングシスト代表 伊藤 慎悟
---------------	---

担当課の報告要旨

【現在の運営状況】

- ・すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンターは美濃加茂市の中心に位置しており、近隣の古井、山之上、太田、蜂屋に加え、加茂野や深田地区まで送迎範囲を広げている。
- ・事業対象者～要介護5までの利用者の方にも、満足してもらえるように、個々の状態に合わせて個別リハビリに取り組んでいる。
- ・独自の脳トレグッズを揃えており、繰り返し取り組むことで、脳の活性化につなげている。
- ・施設内にリハビリコーナーを設け、ペダル漕ぎ、フットマッサージ、ほっとパックなどにより機能訓練、リラクゼーション機能を強化している。

【運営上の課題】

- ・令和4年度には加茂野地区まで対象範囲を広げたことで、送迎に時間を要し、サービス提供時間が短縮されてしまう課題があったものの、現状は「送迎の際に地域をまとめる」「曜日の分散」などの対応で6～7時間のサービス提供時間を確保できている。
- ・新型コロナ5類移行に伴い、感染対策レベルはコロナ禍前に戻している。体調不良者が発生することもあるため、十分に注意しながらサービスを提供している。
- ・近年、他のデイサービスや在来型有料老人ホームが多く開設され、利用者がコロナ禍前まで戻せていないことが課題としてあげられる。

【施設管理上の課題】

- ・口腔ケア及び手洗い用スペースが不足しているという課題については、大規模な改修が必要となってくることから、既存の設備での対応方法の工夫とともに、市に継続して増設の要望をしていきたい。
- ・施設の経年劣化に伴い、内装や機械設備等の老朽化が見られ、今後、修繕費の増加が見込まれる。事前調査と早急な対応が必要となるため、総合福祉会館管理者とも連携を図っていく。

【前回の評価委員会における指摘事項への指定管理者の対応（改善事項）】

- ・令和4年度実施の評価委員会における指摘事項について、指定管理者は下記のとおり取り組んでいる。

指摘事項①:「先駆的・挑戦的な取組みについて」

対応状況:これまでの機器に加え、プーリー(上腕可動域訓練)の機器の追加を行った。また、YouTubeを活用した健康体操や、嚥下体操なども開始した。コロナ禍前と同様にデイサービスセンター利用者が福祉会館部分で歩行訓練を行えるように、総合福祉会館の管理者との協議を進めたい。

指摘事項②:「ワークライフバランスについて」

対応状況:働きやすい職場の実現のため、これまでと同様に岐阜県ワークライフバランスエクセレント企業の認定継続、サービス残業の撤廃、ノー残業デーの設定(週3回)、メンタルヘルスチェックを継続している。

【今後の取組み】

- ・理学療法士や作業療法士の設置を検討していたものの、人件費等の課題もあり、現在は本部の理学療法士から専門的なアドバイスを受け、事業を実施している。
- ・職員の高齢化が進んでおり、職員の確保が困難な状況にある。若い世代の確保に向けて取り組んでいく。
- ・コロナ禍以前の状況に戻し、ボランティアを迎えて地域の方とともに、楽しい時間を過ごせる取組みを考える。
- ・総合福祉会館内での歩行訓練ができるよう関係者と協議を進めていく。
- ・総合福祉会館管理者と連携を取り、総合福祉会館利用者との交流等の機会を設けていきたい。

総合評価結果

二次評価

A

【評価できる点】

- ・運営に関して全く問題はなく、利用者個々の機能向上のために前向きに取り組んでいる。
- ・施設運営上の安全・リスク管理、利用者の健康増進、労働環境の改善に取り組んでいる。
- ・課題に対して一つ一つ解決されていることに加え、課題がなくても前向きにより良く改善していこうとする姿勢が見られる。

【総合評価】

- ・利用者の幸福が施設の在り方として重要なことであり、慈恵会はその点を考えて運営している。今後も継続して進めることを期待する。

要改善・勧告事項

【指定管理者及び市に対する要望・指摘】

① 地域交流等の充実について

・すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンターの役割は、家族の縮小、世帯員の減少により社会的な孤立が進む中で、介護状態にない高齢者をはじめとする地域住民の人々との交流拠点としての機能を担っていくことではないか。利用者の社会参加の機会や、地域交流、地域との連携、ボランティアを交えたイベント開催など今後の地域交流等の充実に向けて取組みを進めてほしい。

② 指定管理施設におけるデイサービスの在り方について

・問題発生型の課題はないものの、現状をさらに改善するために課題設定型の課題は考える必要があるのではないかと。市が指定管理で行う意味や市の施設であるからこそできるデイサービスの在り方について考えてほしい。民生委員や社協の方の力を借りながら、民間施設では行わない先駆的な取組みを市の施設で行うことができれば、他にないモデル的な取組みにもなる。指定管理者にとってもノウハウを得て新しい展開につながっていくのではないかと。

そ の 他 指 摘 事 項
・特になし

●二次評価の判定基準

総合評価	基準
A(優 良)	施設の維持管理・運営を適正かつ効果的・効率的に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを積極的に実施している
B(良 好)	施設の維持管理・運営を適正に行い、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る具体的な取り組みを一部実施している
C(課題有)	施設の維持管理・運営を適正に行っているものの、一部課題があり、「サービスの向上」、「利用者数・稼働率の向上」及び「管理経費の縮減・費用対効果の向上」を図る取り組みもあり見られない
D(要改善)	施設の維持管理・運営に問題があり、早急な改善・勧告が必要である